



病院NEWS

no.
379
2016
01/01

The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保



年頭所感

病院長 横見瀬 裕保



2016年の初頭に当たり、皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

香川大学医学部附属病院は、昭和58年10月に香川医科大学医学部附属病院として開院し、平成15年10月の香川大学との統合を経て、3年前に30周年を迎えました。本院の基本理念「患者さんの権利を尊重し、良質な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し医療の発展に寄与する。」のもと、県下唯一の大学病院・特定機能病院として地域医療を支えるとともに、最良・最新の医療の開発、提供を目指してきました。また強い意志を持った優秀な医師を持続的に地域に供給することも我々の重要な努めと考えています。

本院は香川県災害拠点病院、県がん診療連携拠点病院、エイズ診療中核拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、認知症疾患医療センターなど、地域における拠点となって病院機能強化を行ってきました。また香川県、高松市からの御支援で、感染症、神経難病、地域連携精神医学、地域包括医療学の寄附講座を開設し、幅広い地域診療を行っています。また、小豆島医療再建のために寄附講座を新設しました。強い使命感を持った優秀な医師が離島医療の充実に努めます。小豆島中央病院（新病院）は平成28年春に開院となります。

高度の最新医療の提供を目指し、手術支援ロボット（da Vinci）、高精度放射線治療システム（病巣以外への放射線照射を可能な限り少なくしピンポイントで癌を治療）、3.0T-MRI等、最新の医療機器の整備を行ってきました。また昨年10月、ロボット手術、血管造影可能なハイブリッド手術、MRI可能なナビゲーション手術対応の新しい手術棟が竣工しました。中四国最高レベルの手術棟が完成しました。手術室は10室から11室になりました（平成31年度からは12室になります）。これにより手術数の増加とともに、最新手術を提供できるようになります。

香川大学医学部附属病院は高松市内から離れており、我々が行っている医療が十分理解されていない可能性があります。そこで高松市内で本院が行っている最新医療についての市民公開セミナー（イキイキさぬき健康塾—香川大学病院と最新医療）を行っています。我々の病院の最新施設、高度先進医療、最新医療などについて定期的に情報発信します。場所、日時などについてはホームページなどに掲載します。「いつも近くにいる香川大学医学部附属病院」を目指します。

最後に、新病棟工事、新手術棟工事に続き、東西病棟改修工事、中央診療棟改修工事、外来診療棟改修工事が行われています。これらの工事は本院のさらなる発展、患者さんへの良質な医療の提供につながると確信しております。工事中は皆様にご迷惑をおかけすることになりますが、よろしくご理解、ご支援をお願いいたします。



去る11月22日(日)・23日(月)の2日間、平成27年度第2回緩和ケア研修会を開催しました。

中條浩介先生(麻酔学講座准教授)を中心に、講師の先生方のご指導のもと、本院28名・学外より9名の計37名の医師が受講されました。

この研修会ががん診療に携わる医師が緩和ケアの基本的な知識・技術・態度を習得するための研修会です。受講者は講義以外にグループワークで症例検討を行ったり、ロールプレイで患者、家族を疑似体験するという貴重な体験をされました。充実した2日間の研修を全受講者が無事修了し、厚生労働省健康局長認定の修了証書を授与されることになりました。



泌尿器・副腎・腎移植外科 科長就任のご挨拶

診療科長 杉元 幹史

2015年10月1日付けで泌尿器・副腎・腎移植外科の科長を拝命いたしました杉元幹史でございます。至らない点多々あろうかと思いますが、何卒よろしく願いいたします。



われわれ香川大学泌尿器・副腎・腎移植外科の診療には三つの大きな柱があります。一つは泌尿器科癌の集学的治療、二つ目が腎移植です。泌尿器科の癌、特に前立腺癌は典型的な高齢者癌であり、超高齢社会を迎えつつあるわが国ではその患者数は著しく増加しています。2015年の罹患数予測では、ついに胃癌、肺癌を抜いて男性癌の1位になるとされています。また、生活習慣病などの影響で末期腎不全患者が増加しており、腎移植の需要も年々高まってきております。そして三つ目が排尿管理です。男女を問わず高齢者では、頻尿や尿失禁といった排尿トラブルをかかえておられる患者さんが激増しています。このように泌尿器科に対する社会的ニーズは年々高まる一方です。

近年、医学の進歩のスピードは目を見張るものがあります。泌尿器科領域においても同様です。ロボット手術をはじめ新しい治療機器や新規薬剤が次々と登場してきており、同じ疾患に対する治療も、ほんの数年前とは常識が大きく変わってきています。しかし医療の目指すところ、根源は不変であると信じております。それは“患者さんがいかに幸せになるか”ということだと思えます。

以上の様に、最先端医療を実践しつつもしっかりと足下を固め、安全性に留意しながら正しい診療を行っていきたいと思えます。筧先生が発展させてこられた香川大学泌尿器・副腎・腎移植外科の看板の重さに戸惑っているというのが現状ですが、県下唯一のアカデミック施設としての責任もなんとしても果たしたいと気持ちを新たにしております。今後とも皆様のご協力を頂戴しながら、誠実な医療をモットーに患者さんの幸せを目指して日々精進していく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

脳腫瘍(のうしゅよう)の手術とは?

脳神経外科 講師 三宅 啓介

脳腫瘍(のうしゅよう)とは、脳や脳をとりまく組織にできる腫瘍の総称で、実際には100種類以上の腫瘍があります。香川県でも毎年およそ100人の患者がいらっしゃいます。男性も女性もほぼ同じ割合で発症し、50歳以降、年齢が高くなるにつれて発生率は高くなります。具体的に主な脳腫瘍には、グリオーマと髄膜腫(ずいまくしゅ)があり、それぞれ発生率は1/4程度を占めます。グリオーマは周囲の正常な神経細胞(しんけいさいぼう)に浸潤(しんじゅん)しながら大きくなりますが、髄膜腫は、風船が膨らむように大きくなり、脳の表面を圧迫します。

脳腫瘍の症状は、脳腫瘍の種類や脳内にできた場所によって様々です。例えば前頭葉(ぜんとうよう)の言語野(げんごや)に脳腫瘍ができると、言葉を話したりすることができなくなります。脳腫瘍に対する治療は、手術により脳腫瘍をできるだけ摘出し、摘出後、脳腫瘍の種類により化学療法を行ったり、放射線治療を行ったりします。

もし、言語野に脳腫瘍ができれば腫瘍摘出はできないのでしょうか?私たちは、手術中に患者さんの意識を覚醒(かくせい)させ、お話をしながら大切な脳機能は温存する覚醒下手術(かくせいかしゅじゅつ)を行っています。覚醒下手術を行うことで、摘出可能な腫瘍部位をできるだけ多く取り除き、手術後の生活に支障をきたさないように心掛けることができるようになりました。

また、手術中に脳腫瘍を見失わないためにニューロナビゲーションシステムを用いて腫瘍の位置を把握し、目的の腫瘍に到達し、腫瘍摘出を行っています。さらに手術中にMRI検査を行い、このニューロナビゲーションシステムと連携させることで、最新の画像情報・組織情報・機能情報を統合し、最大限の切除と安全の確保を両立した脳神経外科手術ができるようになります。

2016年1月に香川大学では新手術棟完成に伴い、術中MRI装置が導入され、最先端の脳腫瘍手術を提供することができます。

毎日新聞「四国健康ナビ」H27.9.15掲載

第8回 医学生と医師の卒後キャリア形成に関する情報交換会が開催されました

ワーク・ライフ・バランス支援室

平成27年11月17日(火)午後6時より、標記情報交換会が臨床講義棟1階にて開催されました。

これは、香川県、日本医師会、香川県医師会、香川大学医師会ならびに本院の共催により、将来の医療を担う医学生や若手医師を対象に、今後のキャリア形成に役立ててもらおうと実施している情報交換会で今年は医学科4年生の特別講義として、学内外から132名(うち学生100名)のご参加をいただきました。

医師の仕事と生活について、救急災害医学の黒田泰弘教授、小児科の近藤健夫先生、卒後臨床研修センターの藤田麻咲先生からWLBに対する取り組みや、ご自身のキャリアや育児の工夫などユーモアを交えながらそれぞれお話いただきました。

また、サプライズで高松市保健所の藤川愛先生からTBSで放映中の「このどおり」のモデルとなった本学卒業生で現在りんくう総合医療センターの荻田和秀先生の紹介もあり、有意義な情報交換会となりました。



イルミネーションについて

医事課

来院される皆さまの心の安らぎになればと、病院玄関ホールにクリスマスツリーを、病院玄関前に電飾によるイルミネーションを飾っています。12月7日(月)病院玄関にてイルミネーション点灯式を開催しました。

横見瀬病院長と筒井看護部長により点灯ボタンが押され、毎年恒例のイルミネーションが開始となりました。三木町の夜景をきらきらと輝かせています。

なお、イルミネーションは12月7日(月)から、翌年1月8日(金)まで点灯しています。



医療法等の規定に基づく立入検査について

総務課

例年行われております四国厚生支局と香川県による医療法等の規定に基づく立入検査が、平成27年12月1日(火)に実施され、全般的に良好な評価が得られました。



臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長

医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H28.1~3月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
1/4 月	①12:30~12:50 ②13:00~13:20	外来2階カンファレンスルーム	B型肝炎訴訟についてビデオ上映会	肝炎相談窓口 (地域連携室)	(087)891-2468
1/18 月	①12:30~12:50 ②13:00~13:20	外来2階カンファレンスルーム	B型肝炎訴訟についてビデオ上映会	肝炎相談窓口 (地域連携室)	(087)891-2468
1/24 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町番町東館4階	イキキささぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「大腸癌に対する最新治療」	総務課	(087)891-2008
2/9 火	14:00~15:30	病院2階 カンファレンスルーム	肝臓病教室	肝炎相談窓口 (地域連携室)	(087)891-2468
2/13 土	9:30~	管理棟4階第1	香川県がん相談員研修・交流会	医療支援係	(087)891-2452
2/17 水	18:30~20:00	医学部臨床講義棟2F 講堂	認知症研修会(松木歯科医院院長の講演)	地域連携室	(087)891-2417
2/26 金	18:00~	医学部臨床講義棟2F 講堂	HBV再活性化対策セミナー	地域連携室	(087)891-2417
3/5 土	13:30~16:45	かがわ国際会議場	肝臓病 市民公開講座	医療支援係	(087)891-2452
3/19 土	15:00~17:00	香川県社会福祉総合センター	市民公開講座~世界腎臓デー記念イベント~	香川県慢性腎臓病 対策協議会	(087)891-2150

看護職員募集
中途採用者随時募集
 助産師・看護師免許を有し、夜勤が可能な方
 お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

編集委員会 (50音順)
 荒井(検査)、一條(経営)、小野(総務)、
 加藤(放射線)、白神(麻酔)、中妻(看護)、
 濱本(外来)、芳地(薬剤)、松本(看護)、
 村上(病棟)、横井(情報)、横山(管理)、
 吉野(医事)
 [委員長 横見瀬病院長]